



分散型エネルギープラットフォームについて

令和2年1月29日

分散型エネルギープラットフォーム 事務局



分散型エネルギープラットフォーム

- 官民が連携して、需給一体型の再エネ活用モデルに取り組む上での課題分析を的確に行うと共に、分散型エネルギーに関するプレイヤーが共創していく環境を醸成する。

第1回

- 2019年11月1日（金）14:00 - 16:30 @東京コンベンションホール
- 参加者：約350企業・団体 約450名
- 参加者の例：電力会社、ガス会社、電機、住宅、自動車、建設、通信、金融・リース、商社、自治体、地域新電力、学識者 等

プログラム

- ✓ 需給一体型モデルの事例を紹介
- ✓ 第2回・第3回の意見交換テーマ案を提示

- | | | |
|-------|---|------------------|
| 家庭 | × | FIT売電に代わる選択肢の検討 |
| 大口需要家 | × | 多様な需要家への普及 |
| 大口需要家 | × | 自家消費しない余剰電力の取り扱い |
| 地域 | × | 地域の課題を解決する再エネ導入 |



分散型エネルギープラットフォーム（第2回）

- 「家庭」、「大口需要家」、「地域」の需給単位ごとに、関係するプレイヤーが一堂に会し、討論形式で自由な意見交換を行う。
- 第1回において提示したテーマ案と、アンケート結果等を基にディスカッションのテーマを設定。

第1回

(2019年11月1日)

ディスカッション
テーマ案を提示

第2回

(本日)

ディスカッション
(課題洗い出し)

ネットワーキング

第3回

(2月17日)

ディスカッション
(議論の深堀り)

ネットワーキング

第4回

(3月頃)

とりまとめ

分散型エネルギープラットフォーム（第2回）のテーマ

需要地	テーマ	グループテーマ
家庭	FIT売電に代わる 選択肢の検討	【グループ1】 蓄電池等の調整力としての活用方法 【グループ2-4】 自家消費モデルの価値向上・普及
大口 需要家	多様な需要家への 普及	【グループ5-7】 需給一体型モデルの普及促進
	自家消費しない余 剰電力の取り扱い	【グループ8-9】 余剰電力の活用方法（VPP、P2P、自己託送等） 【グループ10-11】 余剰電力を扱いやすくする環境整備
地域	地域の課題を解決 する再エネ導入	【グループ12-13】 地域新電力の可能性と役割 【グループ14-19】 地域マイクログリッド等の可能性と実現方法 【グループ20-24】 地域課題解決に向けた再生エネルギーの役割